

# 議会だより

## ぞらびや

### 復興に向けて歩み出した総社市！

平成30年6月定例・7月臨時・9月定例会  
議会だよりの8月号は、平成30年7月豪雨の対応のため  
休刊とし11月号との合併号としていきます。 合併号



西仮設住宅



仮設住宅の内部



#### 特集 平成30年7月豪雨災害

平成30年9月定例会市議会報告・一般質問

平成30年6月定例会市議会報告・一般質問

地域づくり協議会との意見交換会が始まる

主な内容

2ページ

6ページ

16ページ

18ページ

昭和仮設住宅



昭和仮設住宅

# 特集 平成30年7月豪雨災害

## 甚大な被害を受けた主な地域



災害ごみが流れ着いた美袋洞門  
国道180号線種井への道が寸断！



国道180号線を越えて高梁川の水が流れて浸水した日羽地区(作原)



槇谷地区で大きな土砂崩れ



冠水した昭和公民館周辺



桃やぶどうなどの被害が甚大な福谷地区



鬼ノ城付近の市道



堤防を越えて一面浸水した下倉地区(草田)



アルミ工場の爆発と浸水の被害を受けた下原地区



浸水した清音軽部地区



### 小学校区別道路・河川等の被害件数

総社小学校	4
総社中央小学校	12
総社北小学校	5
常盤小学校	4
総社東小学校	14
阿曾小学校	43
池田小学校	44
秦小学校	31
神在小学校	25
総社西小学校	116
新本小学校	134
昭和小学校	194
維新小学校	77
山手小学校	32
清音小学校	30
合計	765

※市管理の道路、河川、ため池、農地等の被害件数です。  
※平成30年9月7日現在の数値です。今後の調査等により件数が変わることがあります。

総社に未曾有の被害をもたらした7月豪雨。議会だよりも、市民の皆様は自然災害の恐ろしさと被害の状況を共有していただきたく、今回特集を組みました。

# 市内各地で起きた土砂災害の一部



奥坂地区(岩屋付近)の土砂崩れ



新本地区(木村地区への進入路)の路肩崩壊



福谷地区の田畑は甚大な被害



清音古地地区の大規模な土砂崩れ



議会としても、次々に届く善意の救護物資の仕分けや配送等に取り組みました。



## 7月臨時市議会 豪雨災害の対応に総額17億2千万円の補正予算を可決

県内の自治体のどこよりも早く、7月臨時市議会を開催。補正予算を可決しスピード感をもって被災者支援にあたる。

### 7月臨時市議会

総社市内に甚大な被害を及ぼした平成30年7月豪雨災害(西日本豪雨災害)の発生から2週間後の7月20日、臨時市議会を開催し、災害復旧対応に総額17億2千万円の一般会計補正予算を可決しました。

この補正予算は被災世帯へ一律5万円を即時支給する災害支援金、家屋の被害状況により全壊100万円、大規模半壊50万円、半壊20万円を支給する災害見舞金の創設。市内13カ所に開設した避難所の経費や建設型仮設住宅の設営費、借り上げ型仮設住宅の家賃助成。被災した市道や河川、農林業施設、各種教育施設の復旧事業などが含まれています。

議案に対する質疑では、「多くの倉敷市民を受け入れ

ている避難所運営には倉敷市との連携が必要ではないか。」「仮設住宅の入居希望数を把握しているのか。」「これらの災害対策や支援策の情報をどのような方法で被災した市民に伝えるのか。」「瓦礫処理の進捗状況はどうか。」「などの質疑があり、市議会としても一体となって復旧復興に向けた取組を確認しました。

### 臨時市議会とは…

市議会の会議の種類には、定期的に招集される「定例会(条例により年4回 3月、6月、9月、12月開催)」と、必要がある場合に招集される「臨時会」があります。

定例会も臨時会も、市長が招集しますが、臨時会は議員が市長に招集を請求することができます。

### 全員協議会

豪雨災害の発生から1ヵ月が経過し、総社市災害対策本部を中心に緊急復旧の取組が連日続く中、その間の対応状況について把握、確認し、正確な情報を得た上で、議員全員で情報を共有するために、8月8日に全員協議会を開催しました。

災害対策本部から、7日時点の情報として、家屋の被害状況(全壊131棟、大規模半壊272棟、半壊518棟、一部損壊381棟、調査中183棟)、避難者の状況(避難所9カ所、423名が避難・総社市民76名、倉敷市民347名)の説明を受けました。

また、瓦礫処理・仮設住宅・家賃補助・家屋解体・市内施設の復旧・中小企業や農

家支援について報告を受けました。

出席議員からは「避難者、特に倉敷市民の避難者の今後の見通しについて」、「仮設住宅の建設スケジュールについて」、「農業関係への支援について」、「家屋の解体について」、「連日災害対応している職員の健康管理について」などの質問があり、発災から1ヵ月時点での被害状況、支援体制の状況、今後の見通しの情報共有を行いました。

### 全員協議会とは…

全員協議会は、市政全般に関わる事項や、議会の運営に関する事項などを協議するため、全議員で行う会議です。市から重要施策の説明を受けたり、議員の意見統一を図る場合など、必要に応じて開催されます。

# 災害関連等補正予算を可決

一日も早い復興に全力を挙げることを確認

## 9月定例市議会

9月定例市議会を9月3日から26日までの24日間の会期で開き、議案36件、陳情1件の審議をしました(左表のとおり)。

### 大災害への取組報告

冒頭、市長より7月に発生した未曾有の大災害の状況及び市の対応について、報告がありました。発災後の取組として、①ただちに被災地出張所の開設を行うとともに、全国自治体や一般市民の方々からの支援受入れ体制の確立。②7月臨時市議会の議決を経て被災者の方々に支援金、見舞金の配付や避難所運営の充実、仮設住宅の建設。③国や県への要望、農業及び中小企業への支援、被災者の家屋解体への公費負担、そして心のケアなどへの取組が報告され

ました。最後に、これからも「総社市は全力で市民を守る」との力を込めた決意表明がありました。

### 災害復旧事業等補正予算を議会初日に議決

公費解体処理等委託料6億4800万円、災害廃棄物処理委託料3億4250万円、農業用機械・施設等整備事業補助金6億8628万円、稲刈取り支援金1千万円、被災中小企業雇用維持補助金900万円、道路橋りょう災害復旧事業2億円など、総額28億6千万円の一般会計補正予算(第5号)については、執行を特に急ぐものとして、開会日に議決を行いました。また、「総社市と岡山県との間の平成30年7月豪雨による災害に伴う廃棄物の処理に関する事務の委託に関する規

約の策定」、「総社市教育復興子育て基金条例の制定」ほか1件の議案については、緊急を要するため市長権限により専決処分され、その承認を求められたものですが、全会一致で承認しました。

7号)では、全国の自治体から復興支援のために派遣される5人の職員の受入れに要する負担金、手当として2501万4千円などが主なもので、全会一致で可決しました。

### 被災者見守り・相談等事業など補正予算を可決

平成30年度一般会計補正予算(第6号)では、災害関連として、仮設住宅等に入居する被災者の方々が安心して日常生活を営むことができるよう孤立防止のための見守りや、日常生活上の相談支援、生活支援等の事業を実施するため

の事業委託に1005万8千円。災害ボランティアセンター運営経費として850万円、また医療費を抑制するため、歩くことに重点を置いた健康インセンティブ事業を引き続き実施するための委託料として699万2千円などを可決しました。さらに追加提案された一般会計補正予算(第

### 人権擁護委員候補者推薦同意

本市推薦の人権擁護委員の候補者として、中島真氏(小寺)、菊池玲子氏(駅南一丁目)、岡房子氏(三須)、本行こずえ氏(見延)の4人を推薦することに同意しました。任期は平成31年1月1日から3年間です。

## 平成30年9月定例総社市議会 付議事件採決一覧表

番号	件名	結果
議案第63号	平成30年度総社市一般会計補正予算(第5号)	原案可決
報告第9号	平成29年度総社市健全化判断比率及び資金不足比率について	いずれも 「報告を受けた」
報告第10号	地方自治法第180条第1項の規定による専決処分について ※市道の管理瑕疵に係る和解及び損害を賠償すること	
報告第11号	地方自治法第180条第1項の規定による専決処分について ※庁用自動車の事故に係る和解及び損害を賠償すること	
報告第12号	地方自治法第180条第1項の規定による専決処分について ※庁用自動車の事故に係る和解及び損害を賠償すること	
承認第7号	専決処分の承認を求めることについて(総社市教育復興子育て基金条例の制定)	いずれも 「承認」
承認第8号	専決処分の承認を求めることについて(平成30年度総社市一般会計補正予算(第4号))	
承認第9号	専決処分の承認を求めることについて(総社市と岡山県との間の平成30年7月豪雨による災害に伴う廃棄物の処理に関する事務の委託に関する規約の策定)	
議案第64号	財産の取得について ※消防ポンプ自動車	いずれも 「原案可決」
議案第65号	総社市手数料条例の一部改正について	
議案第66号	平成29年度総社市水道事業会計未処分利益剰余金の処分について	
議案第67号	平成30年度総社市一般会計補正予算(第6号)	
議案第68号	平成30年度総社市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)	
議案第69号	平成30年度総社市介護保険特別会計補正予算(第2号)	
議案第70号	平成30年度総社市農業集落排水事業費特別会計補正予算(第2号)	
議案第71号	平成30年度総社市公共下水道事業費特別会計補正予算(第3号)	
議案第72号	平成30年度総社市水道事業会計補正予算(第1号)	
議案第73号	市道の路線変更について	
議案第74号	総社市職員給与条例の一部改正について	
議案第75号	総社市災害弔慰金等支給審査会条例の制定について	
議案第76号	平成30年度総社市一般会計補正予算(第7号)	
認定第1号	平成29年度総社市一般会計歳入歳出決算認定について	
認定第2号	平成29年度総社市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	
認定第3号	平成29年度総社市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	
認定第4号	平成29年度総社市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	
認定第5号	平成29年度総社市農業集落排水事業費特別会計歳入歳出決算認定について	
認定第6号	平成29年度総社市公共下水道事業費特別会計歳入歳出決算認定について	
認定第7号	平成29年度総社市国民宿舎事業費特別会計歳入歳出決算認定について	
認定第8号	平成29年度総社市総社駅南地区土地区画整理事業費特別会計歳入歳出決算認定について	
認定第9号	平成29年度総社市水道事業会計決算認定について	
認定第10号	平成29年度総社市工業用水道事業会計決算認定について	
意見第4号~第7号	人権擁護委員の候補者の推薦に関する意見を求めることについて	いずれも 「推薦に同意」
陳情第1号	教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1還元をはかるための、2019年度政府予算に係る意見書採択の要請について	採 択
議案乙第2号	教職員定数の改善及び義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書について	原案可決

## 平成30年9月定例総社市議会 賛否の分かれた議案等に対する賛否状況

(凡例) ○:賛成 ×:賛成でない 退:退席 欠:欠席

議案等	議員名	山田雅徳	溝手宣良	三上周治	仲達幸弘	菅野哲也	三宅啓介	岡崎亨一	深見昌宏	小川進一	高谷幸男	小西義巳	難波正吾	小西利一	津神謙太郎	村木理英	頓宮美津子	赤澤康宏	名木正昭	根馬和子	山口久子	剣持堅吾	議決結果	
認定第1号	平成29年度総社市一般会計歳入歳出決算認定について	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	×	欠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	認定

・賛否の確認は、議長及び事務局職員の目視により行っています。 ・加藤保博議員は、議長のため採決には加わりません。



# 9月定例市議会

## 一般質問

議員が市長、教育長などの市執行部に市政の状況や方針を問う一般質問。今議会では、9人の議員が2日間にわたり、一般質問を行いました。

小西 義 已



**問** 西日本豪雨による水害について

**答** 避難勧告、避難指示の名称の在り方はいかがか。避難命令は出せないのか。

**市長** 国の決まりで発令している。勧告・指示の強弱は分かりにくい。今のところは命を守るための総社流の連絡体制で実行する。

**問** 成羽川水系のダム放流はなぜ報道されないのか。

**市長** 成羽川水系のダムは中国電力、河本ダム他は岡山県管理となっている。22時15分に避難指示を発令し、23時30分のピーク時には、平常時の10倍の毎秒3748トンが放流された。このことについて、中国電力、岡山県、国土交通省に強く抗議したい。

**問** 成羽川水系のダム放流はなぜ報道されないのか

**答** 音声ガイダンスによる一方的な通報だけである

**問** 天井川化を防ぐため高梁川河川敷の雑木や土砂を撤去されたい。

**市長** 雑木・土砂の浚渫工事等については国土交通省に強く物申したい。



下倉草田地区



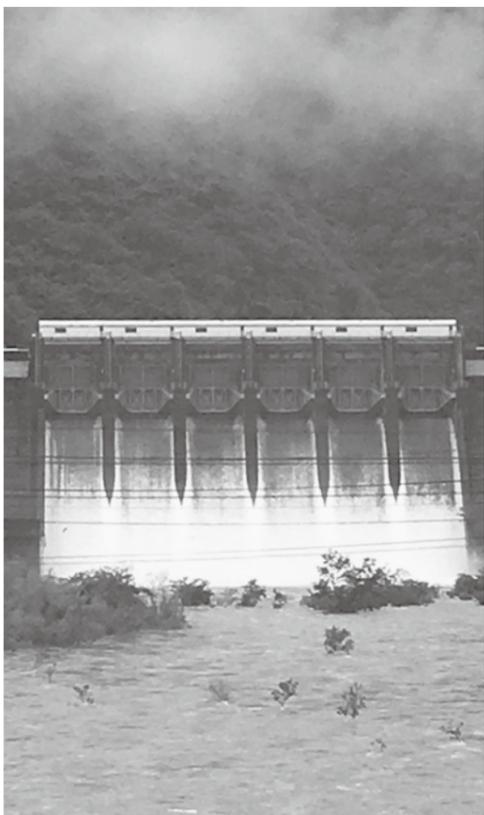
福谷開地区

村木 理 英



**問** ダムの緊急放流時、市民に対する周知はどうか

**答** 今後、市民に対する周知を強化する



成羽川水系田原ダム放流(平成30年9月9日撮影)

**問** 高梁川水系・成羽川水系のダムが緊急放流(異常洪水時防災操作)する場合、市民に対する周知はどうか

**市長** 高梁川水系については管理している県からのファックス、ポータルサイトで情報を得ている。しかし、中国電力が管理している成羽川水系

のダム放水量は高梁川水系全水量の64・8%を占めているにも関わらず、ダム周辺に設置しているサイレンの通知や音声ダイヤルのみである。情報をいち早く入手できるように、関係自治体と連携して中国電力に強く申し入れる。市民に対する周知は、まちづくり協議会等を通じて強化する。

山口 久 子



**問** 大水害について避難所の安全について

**答** ダム管理の電力会社、県に対して関係市と対策検討

想定外の雨量に加えダムの放流による高梁川の増水により、より多くの被害につながったと考えている。今後、ダムの放流に関係のある県、電力会社にしっかりと訴えていかなければならないと考えるがどうか。

**市長** 今回の水害は想定外の雨量と上流のダムの放流がより大きな被害につながったと考えている。

**問** 中国地方で最大の新成羽川ダムは、電力発電専用で洪水調節機能は持っていない。下流住民にはダムの放流を知らせる責任は大きいと思うがいかがか。

**市長** サイレンを鳴らすところもある。

**問** 高梁川下流地域に、是非

サイレンを設置するように、電力会社に強くお願いしてほしい。

**市長** 関係市と連携をとり、しっかりと協議していく。

**問** 避難所の安全について、国道180号が寸断され地域内の1カ所の集会所だけが安全であった。地域住民が入りきれない状況の中、地域の安全な個人宅へ避難し、皆さんの協力で過ごすことができた。水害、山崩れなどに対し、安全な避難所を確保すべきではないか。

仲達 幸弘



**問** 7月豪雨災害の起きた原因と対応について

**答** 関係機関に強く要望。連絡避難体制を強化・確立する。

**問** 高梁川上流のダムの管理者は誰か。また、ダムの最大放流量はいくらだったのか。

**市長** ダムの管理者は主に岡山県と中国電力である。最大放流量は7月6日午後11時30分で、3748トン(うち中国電力2430トン)であった。

**問** ダムの管理者に対して連絡の徹底や放流調整など下流域の自治体として意見や要望をあげる必要があると思うがどうか。

**市長** 倉敷・高梁・新見市と高梁川流域自治体に呼びかけて、一緒に声をあげていく。

**問** 高梁川堤内にある雑木や土砂が川の流れをさえぎり、堤防の決壊や越水となった。雑木や土砂があまりにもひどい状況だ。どう考えるか。

**市長** 今回の災害状況では私が音頭を取って近隣自治体と話ししていく必要性があると思う。被災者同士が助け合う難しさも学んだ。期間についてはがんじがらめにせず、有事想定をした上で広域一時滞在の定義付けをしていきたいと思う。

岡崎 亨一



**問** 市内に避難している真備町住民への倉敷市の対応はどうだったのか

**答** 被災して2日後に倉敷市長と会い、お望みであれば、ずっとお預かりしますと話した

**市長** 7月17日に正式に倉敷市長から真備町住民の避難者数の多い清音公民館・山手公民館・中央公民館は引き続きお願いしたいと話があった。

**問** 広域一時滞在の協議元と協議先で広域一時滞在の必要がなくなった場合の要件を決めておく必要があると思うがどうか。

**市長** 今回の災害状況では私が音頭を取って近隣自治体と話ししていく必要性があると思う。被災者同士が助け合う難しさも学んだ。期間についてはがんじがらめにせず、有事想定をした上で広域一時滞在の定義付けをしていきたいと思う。

**支援物資の供給について**

**問** 現在のフリーマーケット方式の供給方法をどう評価するか。

**市長** 従来の、避難所に支援物資を配給する上から目線のような方法でなく、被災者の人格、プライドを大切にすることが大切だった。取りに來れない方の課題は残したと思っている。

**問** 被災者の確認をし、世帯人数も把握しての支援物資供給が必要と考えるがどうか。

**市長** 将来、また被災することがあるかも知れないので、被災者の方のプライドと物資を供給してくださる方の思いの合致点がどこにあるのかを研究する必要があると思う。

高谷 幸男



**問** 高梁川の雑木伐採、土砂取除きは早急にできないか

**答** 国に対し、早急な伐採を要望したい

**問** 高梁川無堤防地区への築堤を要望すべきだがどうか。

**市長** 国・県に要望したい。

**問** ダムの放流について、ダム管理者及び関係機関との協議会をつくり、今後の対策が急務と思うがどうか。

**市長** 国・県・関係機関と十分協議したい。

**問** 常盤地区で道路の陥没があり、高梁川からの浸水も考えられる。対策はないか。

**建設部長** 先日、国土交通省から川辺橋から上流について、河川内へ鋼矢板を設置することが決定した旨連絡があった。

**問** 避難準備、避難勧告、避難指示と避難情報を発しているが、一層の理解による避難が必要と思うがどうか。

**市長** 十分な情報を提供し早急な避難に結びつけたい。

急な避難に結びつけたい。

**問** 避難場所及びハザードマップの見直しはどうか。

**市長** 避難所は総合的に考え、ハザードマップは見直しをして市民に配布したい。

**問** 緊急告知FMラジオ「こくち」の希望者に有償配布は考えられないか。

**市長** 公共施設及び自主防災組織の代表者などへ配付しているが、今後、方法も考え、一般に配布も考えたい。

**問** 被災地での人口減少を食い止めることはできないか。

**市長** 人口減少とならないよう、何ができるか検討したい。



緊急告知FMラジオ「こくち」

頓宮 美津子



**問** 今後の大きな災害に備えて教職員の支援チームを

**答** 組織的に動いていくシステムを作りたい

**7月豪雨災害について**

**問** 今回の市内の河川で、ぎりぎりのところで危険を免れた場所もあった。新本川もその一つで、氾濫寸前で、もし決壊すればさらに被害が増大していた。復旧も元の状態ではなく、改良復旧の形が望ましい。早急な対応が必要と思うがどうか。

**市長** 今回の災害で51億円の復興関連予算をつけている。災害箇所多い順では昭和小学校区の208か所。次いで新本小学校区の145か所だった。まさに次の災害から守るため多く改良復旧を思いっきりやってまいりたい。

**問** 今回の災害で庁舎機能の重要性を再認識した。救済物資の対応や、会議などのス

ペースの対応に苦慮したと思われる。南海トラフ地震に備え計画通りに庁舎の建て替えを進めるべきだがどうか。

**市長** 計画通り進めていく。

**問** 災害における教職員の対応について、想定される様々な災害から一人も残らず子どもたちの命を守るため、校長先生のもと学校が組織としての防災体制や、派遣できる支援チームを整備してはどうか。

**教育長** 今回多くの先生方がそれぞれで動かれたが、組織的に動くことも大事であると痛感した。そのようなシステムづくりをしてまいりたい。



市役所ロビーにあふれた支援物資



溝手 宣良

**問** 他県他市の災害時に今まで幾度となく救援に行っているが、その経験は準備にいかされていたか。

**市長** 初めて助けられる側になって、頭で計算した机上の計画とは全く違っていった。反省点が多い。例えばブルーシートがなかった。要ると思っただけでなかった。毛布も備蓄では足りなかったし、毛布よりも敷布団の方が必要だった。

**問** 当事者になってみて感じたことは何か。

**市長** 初めて助けられる「ありがたみ」が分かった。災害時協定を締結していて良かった。助けてきた力が助けられる力になった。気候も天候も環境も違う遠い所の方が、総社市だけを見てくれることが

**問** 防災前の準備は十分であったか

**答** 頭で計算した机上の計画とは全く違っていった

分かった。

**問** 周辺自治体との関係はどうだったか。

**市長** 倉敷市と総社市が同時に被災するといったことは想定してなかった。今後は広域の防災訓練が必要になってくるのではないかと思っている。

**問** 消防としてはどうか。

**消防長** 災害による被害を最小限に防ぐことを目的に岡山県下消防相互応援協定を締結している。今回は倉敷市消防局と特に相互に応援活動を実施した。消防団にも行方不明者の捜索活動や被災地支援をはじめ、多大なる活動をしていただいた。組織力・行動力・団結力に感謝している。連係は被害の軽減という意味で極めて重要であると認識している。

萱野 哲也



**問** この度の西日本豪雨災害の真っ只中、軽部川の強制排水ポンプが故障した。日頃の点検はどうなっているか。

**総務部長** 国が毎年点検している。

**問** 総社市中心部に人口が増え、これまで田畑であった所が宅地化、アスファルト・コンクリート化され、降った雨が水路に流れ下流に位置する軽部地区が浸水している。強制排水ポンプは軽部地域の命綱である。ポンプ設置当時想定していた流量とは変わってきているのではないか。また耐用年数も過ぎていたりするのであれば新設をお願いしたいがどうか。

**市長** 9月に国へ要望する。軽部川には県管理の部分

**問** 軽部川にある強制排水ポンプの故障は何か

**答** 地下水ポンプの漏電による故障だ

もあり浸漬(しみせき)川底の土砂を取り除くこと)も要望してほしいがどうか。

**市長** 県にも要望していく。総社小学校・給食調理場・こども園の現在進行中の建設工事は今回の災害で影響はないのか。

**市長** 災害対策にも軸足を置きつつも予定どおりやっています。

**問** 復興需要で建設業が忙しくなり人件費や材料費の高騰が懸念されるが追加の補正予算が出ることはないのか。

**市長** 議会へ補正予算をお願いすることもある。

**問** 総社市役所建て替え工事はどうするのか。

**市長** 予定どおり平成36年度末までの事業完了は崩せない。

総務生活委員会

当委員会では審査した案件は、9月定例会では議案9件であり、全て原案どおり可決しました。

主な内容は次のとおりです。

●平成30年度総社市一般会計

補正予算(第5号)(議案第63号)(所管部分)

《補正予算の主なもの》

災害支援ふるさと納税寄附金及び消防施設災害復旧事業債の増額、財政調整基金繰入金の減額及び予備費の増額

**問** 災害救助費負担金1596万円について避難者への食糧費が主なものだが、具体的にはどうか。

**答** 災害救助法の規定により1日あたりの食糧費は1140円以内とされている。現在確実な範囲内で1万4千人分を計上している。真備町からの避難者分については、本市が補助金申請するか、倉敷市へ負担金として請求するか確

定していないため、現時点では計上していない。

●平成30年度総社市一般会計

補正予算(第6号)(議案第67号)(所管部分)

《補正予算の主なもの》

ふるさと納税ポータルサイト掲載サイト数拡大に伴う寄附金の増加並びに寄附に対する返礼品等の増額、市税還付金の増額

**問** 還付金1500万円の増額は今回の災害によるものか。

**答** 法人市民税の還付金が増えるものである。法人市民税の場合、前年度の実績に基づき中間納税をされるが、決算で見込みが大幅に下がる場合がある。その場合多額の還付金が必要となり、今年度は上期で還付が多かったため補正を行うものである。

**問** ふるさと納税の米のプロモーションの実施について、ふるさと納税の制度が変更になる可能性もあるが、プロモーションは無駄になること

はないのか。

**答** 価格優位でここまで来た面があるが、国からの返礼品の見直し要請等により優位性が失われる恐れがあるため、特設のウェブサイトの創設、特定のユーザーにターゲットを絞った広告等でPRを行う予定である。

■一般会計決算審査特別委員会総務生活分科会

◎平成29年度一般会計歳入歳出決算認定(認定第1号)

(所管部分)

**問** ふるさと納税について、国の指針を踏まえ、返礼品の調達に要する費用の見直しをするのと、調達の額はどうか。

**答** 国から寄附額に対する返礼率を30%以下に下げよう通達がきている。総社市は3万円の寄附に対して60キロのお米を返礼品としているため、買取額を下げるか、返礼品に対する寄附額を高くする必要はある。平成31年産米の募集の時期から見直しをする予定

であったが、前倒して検討を進める。

**問** 岡山県市町村税整理組合の負担金について、これからも委託していくのか。税務署のOBや税理士等を嘱託をお願いするという方法もあるがいかがか。

**答** 効率的に滞納整理を行っていくには、今の形がベストだと考えている。全国的には使用料や税金などを含めた専門部署の設置を進めているところもあり、将来的には検討していかなければならないと考えている。

◎本分科会に分担された部分において「備南競艇事業組合の負担金については、行政が出資すべきものではない。またコンプライアンス推進監の報酬等について、条例そのものに反対している。外部の力に頼らず、職員の見識向上を図る方が経費節減になる」との理由から異議がありました。

文教福祉委員会

当委員会で審査した案件は9月定例会では議案11件であり、全て原案どおり可決しました。(陳情1件は採択)

《9月定例会》

●平成30年度総社市一般会計補正予算(第5号)(議案第63号)(所管部分)

《補正予算の主な内容》

・本年7月の豪雨災害で被害を受けた山手スポーツ広場の山林東側斜面及び新本小学校裏山の復旧に係る経費が主なもの

問 新本小学校の裏山はどのような状況か。

答 裏山が校舎直近まで崩れ落ち、土がむき出しになっていた。現在はブルーシートを覆っている状況である。

●平成30年度総社市一般会計補正予算(第6号)(議案第67号)(所管部分)

《補正予算の主な内容》

・平成31年4月より健康インセンティブ事業を開始するための準備を行う経費、災害ボランティアセンター運営に係る経費が主なもの

問 健康インセンティブ事業について、人数設定の根拠は何か。

答 歳入から歳出を引いた5千万円程度で、この事業を継続してやっていければと考え、3500人とした。

●平成29年度総社市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について(認定第2号)

問 前年に比べ、歳入歳出差引残額が2億9774万円増額しているが要因は何か。

答 歳入の前期高齢者交付金について、当初予算で想定していた額よりも約3億8千万円多く入っている。歳出については、保険給付費が前年と比べ約6千万円減ったことが要因として考えられる。

■一般会計決算審査特別委員会文教福祉分科会

◎平成29年度一般会計歳入歳出決算認定(認定第1号)(所管部分)

問 保育士支援金2万円の成果は出ているのか。就労の状況はどうか。

答 国の処遇改善もあり、向上している。平成29年度の退職者は前年に比べ減少しており、ある程度効果があったと考えている。

問 小児医療費が前年より減少している。どのように評価しているのか。

答 親子交流の場や保育所、親子クラブ等で出張講座を実施して、家庭での看護力向上の啓発を行ったことにより医療費の抑制ができたと考えている。

問 障がい者通級指導教室の成果はどうか。また課題は何か。

答 保護者から、「通常の学級に居ながらにして、ケアを受けることで安定した生活を送ることができている。」という

産業建設委員会

当委員会で審査した案件は、9月定例会では議案15件、全て原案どおり可決しました。主な内容は次のとおりです。

《9月定例会》

●承認第9号 専決処分の承認を求めることについて(総社市と岡山県との間の平成30年7月豪雨による災害に伴う廃棄物の処理に関する事務の委託に関する規約の策定)

問 災害ゴミの量はどれくらいあるのか。また、ゴミはどこで処分するのか。

答 災害ゴミと解体ゴミで約1万9千トンを見込んでいます。災害ゴミは吉備路クリーンセンターと最終処分場に置いてあり、順次、岡山県環境保全事業団水島処分場に運んで処理していく予定である。解体ゴミについては、総社西公園に仮置きすること等を検討しているところである。

●議案第67号 平成30年度総社市一般会計補正予算(第6号)(所管部分)

《補正予算の主な内容》

・園芸振興対策事業補助金の増額

問 事業の具体的な内容は。

答 中東諸国へ白桃の販路拡大を目的としたもので、総社もも生産組合が、12月3日にオマーンの日本大使館で開催されるレセプションで白桃を披露する予定であり、これに県、市が補助しようとするものである。

◎認定第8号平成29年度総社市総社駅南地区土地地区画整理事業費特別会計歳入歳出決算認定について

問 事業はあと何年の見込みか。

答 平成30年度に換地処分のお知らせをし、その後は精算金の事務である。最長で後五年の見込みである。

■一般会計決算審査特別委員会産業建設分科会

声をいただいている。課題については、通級指導教室のある総社北小学校に親が子供を連れて行かなければならないという現状がある。現在は総社小学校と常盤小学校で専門性の高い指導者によるサテライト教室を開設している。

問 不登校対策研修会の内容と不登校の本市の現状はどうか。

答 講師のスタッフは9名で延べ14回、研修会として夏の集合研修や各学校園で行うサテライト研修を行っている。この研修の参加人数は延べ2467人で本市の大きな特徴となる研修を展開することができている。この取組を始めて9年目になるが、当初からすると特に中学校の生徒の不登校の出現率は半減して、全国レベルを大きく下回っている。小学校は同じような状態である。

◎平成29年度一般会計歳入歳出決算認定(認定第1号)(所管部分)

問 土木担当員からの道路の修繕、改修の要望に対する執行率はどうか。

答 土木工事要望について、平成28年度分の残りとして1397件、平成29年度の新規要望で699件あり、合計2096件の要望に対して、完了件数は519件、要望残は1577件となっている。

問 土木担当要望は毎年度新しいものが出てくるが、過去の要望はどうなるのか。緊急性が高いものや、優先度が高いもの等は、どのように取り扱っているのか。長期にわたって積み残されてしまう要望が出てくるのではないか。

答 随時、土木担当員と協議しながら進めている。

◎本分科会に分担された部分において、観光センター運営の委託料については、きびじつるの里の在り方に

**議長交際費執行状況**  
「総社市議会議長交際費の支出基準及び公表に関する要綱」に基づき、議長の交際費の執行状況を公表します。

[平成30年4~9月分] (単位：円)

支出区分	支出年月日	支出金額	支出先等
激励金	4/22	10,000	第65回岡山県消防操法訓練大会
議長賞	6/17	5,400	第72回全日本アマ将棋名人戦・一般将棋総社地区大会
募金	7/23	5,000	原水爆禁止2018年国民平和大行進
4月からの累計	-	20,400	-

ついて、管理方法や経費の面で以前から指摘をしているが、十分な改善がなされていないとの理由から異議がありました。

**11月定例市議会の予定**

日程	内容
11月29日(木)	開会
12月5日(水)	一般質問
12月6日(木)	一般質問
12月7日(金)	一般質問
12月10日(月)	一般質問・質疑
12月11日(火)	委員会
12月12日(水)	委員会
12月13日(木)	委員会
12月20日(木)	閉会

※各日午前10時開始予定です。

問い合わせ 議会事務局 Tel.92-8332

# 平成30年6月定例市議会

6月定例市議会は、6月25日から7月13日までの19日間の会期で開催しました。本定例会は、市長の海外出張（インド及びベトナム）の都合により例年に比べ、3週間程度遅い会期となり、また、7月6日には、豪雨災害が発生し、災害対応最中の議会運営となりました。

## 6月定例市議会

### 議案概要と審議結果

議案概要は次のとおりです。なお、全ての議案が全会一致で可決されました。

**吉備線（愛称・桃太郎線）LRT化検討業務等補正予算を可決**

一般会計補正予算（第1号）では、吉備線LRT化に伴う周辺住民や通過交通の影響調査を行うための吉備線LRT

化検討業務委託料に1700万円、また、東総社駅周辺のまちづくり及び交通の利便性向上等の調査を行う吉備線LRT化に伴う沿線整備検討業務委託料として600万円、さらには、清音ふるさとふれあい広場に新たな遊具を設置するための委託料2000万円、日本遺産の認定を受けた「桃太郎伝説」を推進するための費用951万1千円などが主なものです。

なお、一般会計予算の総額は、285億2730万円となりました。

### 新たに公民館分館を開設

市内真壁に総社市中央公民館常盤第2分館を設置し、本年11月から供用開始するための、総社市公民館条例の一部改正について、全会一致で可決しました。

### 人権擁護委員候補者推薦同意

本市推薦の人権擁護委員の候補者として、井関都氏（総社）を推薦することに同意しました。

### 一般質問

6月定例市議会では、11人の議員が一般質問を行いました。主なものを分野別にまとめてお知らせします。

#### まちづくり

**岡山連携中枢都市圏について（村木理英）**

**問** LRTを岡山連携中枢都市圏の施策としないのか。

**市長** 吉備線LRT化事業を施策に参画させる。

**吉備線のLRT化について（三宅啓介）**

**問** LRTに関しての市民説明会を市内各地開くべきだ。

**市長** 市内各地でLRTについての意見交換会を行っている。

### 保健福祉

#### 子どもの健康について

（頓宮美津子）

**問** 子どもを守るため、受動喫煙防止の尿検査実施を。

**教育長** 保護者の理解を求め、医師会と相談し、検討する。

**問** 受動喫煙防止の法案が閣議決定された。特に子どもや高齢者の受動喫煙防止に向けて、自治体は対策を講じるようになっている。本市の対応はどうか。

**市長** 学校や公共施設内での禁煙や妊産婦への指導、ポスターなどで周知に努めている。ヘルプマークについて

（山田雅徳）

**問** ヘルプマークの普及状況はどうか。

**市長** 少ない。啓発に力を入れていく。ヘルプマークは、外から目に見えない障がいを持っていての方が助けを求めるサインとなる。昨年4月からの本市

でのヘルプマークの配布状況はどうか。

**市長** 現在83人の人に交付できている。妊婦や障がい者の数を考えると少ない。いかに啓発して広めていくか、力を入れるべきだ。

**健康インセンティブ事業について（三上周治）**

**問** 健康インセンティブ事業は来年度も実施するのか。

**市長** 成果を検証して継続して実施していきたい。

**問** 健康インセンティブ事業の概要はどうか。

**市長** 歩数計を活用して歩くことでポイントが貯まり上限1万円分商品券が獲得できる。障害者優先調達推進法について（萱野哲也）

**問** 障害者優先調達推進法のこれまでの実績及び目標をどう感じているか。

**市長** 実績について反省しなければならぬ。将来的に大幅に増やしていく。**問** これから市役所で優先調

#### 観光・建設

**日本遺産について（高谷幸男）**

**問** 桃太郎伝説が日本遺産に認定されたが、今後の対応は。

**市長** 構成市の4市とは異なる会議を立ち上げ協議する。

**問** 今後この認定をどのように市民へPRする考えか。

**市長** 認定された文化財のパンフレットや冊子を作成し、周知を図る計画である。

**観光行政について（根馬和子）**

**問** 日本遺産認定された「桃太郎伝説」の取組はどのよう

に。**市長** 4市連携や市独自の日本遺産総社会議を立ち上げる。**問** 今後観光客が増えることが予想されるが、対策はどのように考えるか。**市長** 観光に対する考え方を

く。**問** 吉備線沿線はどのように発展すると考えるのか。

**市長** 土地規制や土地活用を考慮し、これから市民と協議して考えていく。

### 教育

**中学校「道徳」教科書の採択について（仲達幸弘）**

**問** 中学校「道徳」教科書の採択は民主化、透明化を。

**教育長** 民主的な運営で審査採択をしていく。

**市内小中学生の教育について（溝手宣良）**

**問** スマートフォン依存への対応はどうか。

**教育長** メディアコントロール週間を実施している。

**問** ゲーム依存症をはじめスマホ等が生活習慣や学校生活、学習習熟度に大きな関わりがあると思うがどうか。

**市長** 節度を持ってやるべきだ。

抜本的に変えていき、マップ、ホームページ、パンフレット、案内表示等を充実し、地道な政策を確実に実施する。

**公共施設（学校含む）の安全管理について（岡崎亨一）**

**問** 公共施設のブロック塀の状況はどうか。

**市長** 15施設で違法建築が見つかった。専門家に対応する。学校施設では、総社幼稚園・総社小学校・総社中学校で違法建築のブロック塀が見つかった。

**問** 公共施設の安全管理をどう考えているのか。

**市長** 清音ふるさとふれあい広場の遊具の事故もあったので、専門家の点検も含めて安全管理を徹底する。

○豪雨災害対応のため、議会だより8月号は休刊させていただきました。そのため11月号では、6月定例会報告（簡略版）を合わせて編集し、発行させていただきます。

# 地域づくり協議会との意見交換会が始まる

本年度は、これまで開催してきた市民の皆様との意見交換会を、それぞれ17の地域づくり協議会ごとの皆様との意見交換会として開催することとしました。日程、場所などは地域づくり協議会の皆様で決めていただき、議会がそれに合わせて伺うことにし、一



意見交換会(中央小学校区地域づくり協議会)

班4人体制でチームを組み、議長・副議長はオブザーバーとして参加、他の議員はそれぞれ自由参加としました。これまで、3協議会との意見交換会が開催されましたので、その模様を各班員から報告します。

## 中央小学校区との意見交換会 (5月20日・萱野班)

今回は、全体として初めての開催ということもあり、協議会内に多く呼びかけもされ、各部門からの参加がありました。長時間にわたる真剣な意見交換会となりました。主な内容は、井尻野地区の子どもを取り巻く通学路の問題。それに伴い、街灯や、防犯カメラの設置の問題、信号機や横断歩道の問題、子どもの見

守り、巡回など、発展的な議論がなされました。どれも地域の課題で、全体の問題として、協議会でもっと話し合いを進めたいという事で、市などへ要望しているという事になりました。また、LRTのことも是非住民投票もお願いしたいとか、土砂崩れなどの災害時の避難所の問題、地域の公園など意見が出されました。今後の課題も話され、協議会とこのような話し合いができ、意見交換会を開催した効果を実感され喜んでいただきました。

(頓宮美津子)

## 総社小学校区との意見交換会 (7月20日・深見班)

西日本豪雨発災後初めて、全体では2回目の意見交換会が総社小学校図書室で7月20日、難波里司会長以下15名の役員の方々のご出席のもと開催されました。豪雨災害の影響で会場の変更を余儀なくさ

れましたが、未曾有の被害の後ということに正にタイムリーな議論が多く交わされました。全体の約半分強の時間をハザードマップや防災計画、あるいは避難勧告・避難指示の在り方や伝達方法について費やされました。その中でも「無駄になっても良いから早目に避難指示を出してほしい」という意見があった一方「誰も避難してなかった」という意見があったのが印象的でした。

2つ目のテーマとして子ども高齢化が上がり、高齢者の交通手段の確保や激増する空き家、70歳まで働ける社会づくり等の問題点や対策について活発に論じられ「議会にも政策立案能力を高めて市長や執行部と協力し思い切った政策を」といった意見が出されました。

3つ目に「LRTをどうまちづくりにかすのか」「L



意見交換会(総社小学校区地域づくり協議会)

R Tは総社にどんなメリットがあるのか」といった議論が交わされました。東総社駅周辺の整備にも繋がる大きな課題です。「議会ももっと意見を持ってほしい」と激励を頂きました。

この他にも多くの大変貴重な意見を多く頂き、充実した時間でした。

(溝手宣良)

## 新本小学校区との意見交換会 (8月26日・名木田班)

今回は西日本豪雨後の開催でしたが、各部門から多数の参加がありました。事前に協議会で意見交換会での意見をスムーズに進捗することができました。新本地区の内容に限らず市全体で考えていかなければならないご意見も多数いただきました。具体的な内容は、会長から市議会の役割について例を交えた内容で、福井県への燃料輸送は正しかったのか。また、吉備路マラソンは本当に2万人を目標とする意味があるのか等を、続いて各役員から順次ご意見をいただきました。幼稚園の預かり保育について、災害に係る諸問題について、新学校給食調理場の建設位置について、LRTのことも住民投票による決定が必要ではないか、補助事業の簡素化についてなど建設的な議論がなされ

ました。

また、すずらん保育園の現状について、議会と共通の認識をもってもらいたいとのご意見をいただき、今後、協議会でもっと話し合いを進めたいという事で、市などへ要望していただくことになりました。地域の課題点を市議会と共有できたことが良かったと喜んでいただきました。

(三上周治)



意見交換会(新本小学校区地域づくり協議会)

意見交換会 担当議員一覧(全ての意見交換会に加藤保博(議長)または、津神謙太郎(副議長)が出席します。)

班名	班 員			
	班長			
難波班	難波正吾 (総務生活委員長)	岡崎亨一 (産業建設副委員長)	村木理英 (文教福祉委員)	小西利一 (総務生活委員)
深見班	深見昌宏 (文教福祉委員長)	剣持堅吾 (文教福祉委員)	仲達幸弘 (産業建設委員)	溝手宣良 (総務生活委員)
名木田班	名木田正昭 (産業建設委員長)	小西義巳 (産業建設委員)	高谷幸男 (総務生活委員)	三上周治 (文教福祉委員)
根馬班	根馬和子 (総務生活副委員長)	山口久子 (文教福祉委員)	赤澤康宏 (総務生活委員)	山田雅徳 (産業建設委員)
萱野班	萱野哲也 (文教福祉副委員長)	頓宮美津子 (総務生活委員)	小川進一 (産業建設委員)	三宅啓介 (総務生活委員)

平成29年度政務活動費  
収支報告書公表

政務活動費は、市政の課題及び市民の意思の把握・反映させるための活動など、議員の調査研究活動に必要な経費として、総社市議会では1人あたり月額3万5千円が議員個人に交付されます。毎年、全ての金額の領収書を添えて収支報告を行い、残金は返還することが義務付けられています。

なお、政務活動費領収書等の閲覧は、平日(午前8時30分～午後5時15分)に議会事務局にて行っています。閲覧を希望される方は、どうぞお気軽にお越しください。  
(問い合わせ 議会事務局)

☎02-83332

岡山市	1,620,000
倉敷市	1,440,000
津山市	696,000
玉野市	420,000
笠岡市	540,000
井原市	360,000
総社市	420,000
高梁市	360,000
新見市	360,000
備前市	300,000
瀬戸内市	240,000
赤磐市	360,000
真庭市	360,000
美作市	360,000
浅口市	360,000

平成29年度政務活動費収支報告書集計表

(単位:円)

議席番号	議員氏名	交付額	調査研究費	研修費	広報費	広聴費	要請・陳情活動費	会議費	資料作成費	資料購入費	人件費	事務所費	合計
1	山田 雅徳	210,000	0	166,960	0	0	0	0	31,021	4,320	0	0	202,301
2	溝手 宣良	210,000	61,204	83,880	0	0	0	0	15,201	11,213	0	0	171,498
3	三上 周治	210,000	61,204	166,960	0	0	0	0	0	21,170	0	0	249,334
4	仲達 幸弘	210,000	0	0	14,644	0	0	0	0	16,650	60,000	30,000	121,294
5	萱野 哲也	420,000	0	0	283,640	1,001	88,640	0	226	21,828	0	23,671	419,006
6	三宅 啓介	420,000	1,080	13,060	46,440	0	0	0	2,581	17,424	0	0	80,585
7	岡崎 亨一	420,000	1,020	158,584	6,065	0	0	0	0	15,100	0	0	180,769
8	深見 昌宏	420,000	79,869	311,700	0	0	0	0	0	29,850	0	0	421,419
9	小川 進一	420,000	12,312	187,440	142,128	0	0	0	0	0	0	0	341,880
10	高谷 幸男	420,000	0	269,940	30,397	0	0	0	26,432	44,530	0	0	371,299
11	小西 義巳	420,000	63,747	259,100	0	0	0	0	55,877	54,641	0	0	433,365
12	難波 正吾	420,000	0	0	48,700	0	0	0	0	54,940	120,000	60,000	283,640
13	小西 利一	420,000	144,959	0	0	0	0	0	0	40,746	0	0	185,705
14	津神謙太郎	420,000	0	0	0	0	0	0	10,692	9,876	0	18,641	39,209
15	村木 理英	420,000	0	261,960	0	0	0	5,000	7,835	110,240	0	0	385,035
16	頓宮美津子	420,000	62,224	295,010	0	0	0	43,800	19,450	13,880	0	0	434,364
17	赤澤 康宏	420,000	88,115	311,700	0	0	0	0	1,976	20,445	0	0	422,236
18	名木田正昭	420,000	77,727	311,700	0	0	0	0	0	30,321	0	0	419,748
19	加藤 保博	420,000	58,743	0	0	0	0	0	2,426	57,354	0	72,000	190,523
20	根馬 和子	420,000	0	344,860	53,136	4,770	0	0	5,099	14,687	0	0	422,552
21	山口 久子	420,000	105,274	0	0	0	0	0	8,794	66,150	0	9,566	189,784
22	剣持 堅吾	420,000	84,720	311,700	0	0	0	0	0	63,125	0	0	459,545
	計	8,400,000	902,198	3,454,554	625,150	5,771	88,640	48,800	187,610	718,490	180,000	213,878	6,425,091

\*現職議員の政務活動費です。平成29年度は市議会議員選挙があったため、上半期・下半期に分けて210,000円ずつ交付しています。  
\*合計金額が交付額を超える部分は自己負担とし、合計金額が交付額に満たない部分は返還しています。

編集後記

このたびの西日本豪雨災害により被災されたみなさまに謹んでお見舞い申し上げます。一日も早く復興されるよう心からお祈り申し上げます。また、全国からかけつけてくださったボランティアの皆様から感謝いたします。

今回の災害支援に高校生ボランティアが注目されましたが、ボランティアには地域の皆様をはじめ、全国各地の小中高生、大学生、災害支援団体、民間企業の方、一般の方等沢山のボランティアに来ていただきました。議会としてもボランティアの方々のサポートしようということで、7月8日からボランティアの方々が作業されている現場へ、飲み物や氷の輸送を毎日2回行いました。小さなことではありますが、現場で何が起きているか日々観察することができ、今後の災害対応策について貴重な体験となりました。

さらに全国では、台風の猛威や北海道を襲った大地震と立て続けに大災害が起きているようです。

今回の西日本災害を教訓に新たなまちづくりを行っていかねばなりません。広聴広報委員会は、そのために市民の方々の声をお聞きしてまいりたいと思いますので、よろしく願います。(三上周治)

◆広聴広報委員会のメンバーは次のとおりです。

- 委員長 津神謙太郎
- 副委員長 溝手 宣良
- 委員 山田 雅徳
- 委員 三上 周治
- 委員 仲達 幸弘
- 委員 村木 理英
- 委員 頓宮美津子

